

日本選挙学会 2003年度第1回理事会議事録

日 時：平成15年5月18日(土) 午前11時35分～
場 所：石川県立社会教育センター 4F 45号室(国際会議室)

議 題：
(入会申込書の回覧)

1. 2003年度予算案の件(財布資料参照)

- ・WEBジャーナル運営費(20万円)と年報発行準備金への繰り入れ分(100万円、本年度から年報発行準備金への繰り入れは行わない)を、印刷費(300万円)と合わせる(計420万円)修正の後、一般会計13,486,225円及び年報発行準備金10,209,213円の予算案が承認された。

2. 各委員会の活動状況について

企画委員会(神江委員会)

- ・神江委員長より、2003年度大会について報告があった。

年報編集委員会(池田委員会)

- ・池田第19号編集委員長より、第19号の編集について、17件の申し込みとその中から2重投稿のあった1件などを除き、10件を受理、さらに12件の書評を掲載する予定であることが報告された。
- ・池田第19号編集委員長より、昨日の理事会で承認された新雑誌(『選挙学会紀要』)発行に伴い、「日本選挙学会編集委員会規程」の改定案(第1及び第2条の変更：旧第1条「日本選挙学会は、機関誌「選挙研究」を発行するために編集委員会を置く。」新第1条「日本選挙学会は、機関誌を発行するために編集委員会を置く。」、旧第2条「機関誌は、原則として年1回発行する。」新第2条「機関誌は、原則として年3回発行する。」)、新設する「『選挙学会紀要』編集内規」案(第1条「編集委員会は『選挙学会紀要』編集小委員会を設置できる。」第2条「編集小委員会ならびに編集小委員会編集長については、編集委員会が会員の中から指名し、理事会で承認する。」)、及び「『選挙学会紀要』投稿原稿に関する執筆要項」案(これまで理事会で検討してきた「オンライン紀要」に関する執筆要項を印刷媒体用に一部修正したもの)について報告があり、理事会で一部修正の後、上記のように承認した。
- ・新設する『選挙学会紀要』は各年度の5月及び11月の年2回発行とし、第1号の発行を本年11月とした。
- ・『選挙学会紀要』の編集を担当する小委員会について、第1号については以下の会員を委員とすることを承認した。

小委員会委員長 桑原英明理事

委員 池田謙一理事、佐藤祐司会員、森正会員、小林理事長、河野事務局長

文献委員会

- ・6月の発行に向けて、編集作業中であることが欠席の藤井委員長に代わり岩崎委員から報告された。

選挙管理委員会

- ・10月の理事選挙に関し、その実施についての確認と準備状況とについて和田委員長より報告がなされた。

3. 入会申込者・退会希望者の件

- ・以下の5名の入会申し込みがあったが、5名全員の入会を承認した。
相田真彦（ミシガン大学）、岡本哲和（関西大学）、島川浩子（内閣官房）、建林正彦（関西大学）、宮原辰夫（文教大学）
- ・上記の移動によって、現在の会員数は543名（うち法人会員1社、休会4名含む）となった。

4. 日本学術会議・学術振興会関係

科研費の件

- ・平成15年度の『選挙研究』第19号に対する科研費からの助成が前年の110万円から140万円に増額され、内定したことが報告された。

第19期学術会議会員選出に係わる推薦人会議の件

- ・推薦人として届けてある小林理事長、及び河野事務局長が5月8日に開催される同会議に出席することが報告された。

5. その他

- ・欠席の竹下編集委員長に代わり岩淵副委員長（第20号）より、『選挙研究』第20号編集委員会メンバー案について報告があり、理事会で承認された。メンバーは、以下の通りである。

竹下委員長（明治大学）、岩淵美克副委員長（日本大学）、油川洋委員（尚絅女学院短期大学）、石田榮仁郎委員（近畿大学）、川戸恵子委員（東京放送）、小西徳應委員（明治大学）、佐々木孝夫委員（平成国際大学）、中野邦観委員（尚美学園大学）、中邨章委員（明治大学）、及び次期新事務局幹事1名。

- ・次回理事会 9月27日（土） 午後14時～ 慶応義塾大学三田キャンパス

以上

（出席者）小林理事長、浅野、油川、荒木、池田、岩崎、岩淵、内川、加藤、川戸、川人、河村、桑原、神江、田中、谷、中野、中邨、和田の各理事、平野、森脇の両監事、芹澤学術会議会員、オブザーバーのS・リード会員、及び河野事務局長、今井、鬼塚、河崎の各幹事。